

# 第4回 鳴門市まちづくりデザイン会議を開催

8月の第3回デザイン会議以降に起きた現状報告を行ったほか、まちのコア・都市機能とコンテンツについて、東西の都市軸や撫養川沿いの活用方法、社会実験などを議論し、次回に未来ビジョンを提示することを説明しました。

参加委員：内藤座長、永易委員、林委員、森下委員、河野委員、西谷委員、黒崎委員、池田委員、浜委員

## 現状報告・まちのコア・都市機能とコンテンツ

鳴門センター街ビル跡地・新スポーツ施設について状況を報告 ・ 中学生によるまちづくりの研究・提案を紹介しました

駅まち空間の機能、まちのコア位置の検討比較、駅まち空間の使い方や都市機能とコンテンツについて説明しました。

【センター街ビル】 ・センター街については、解体費用の助成の提案を正式に市からしていく予定であり、今後動きがあればデザイン会議でも報告し、必要に応じてご議論していく。

・その後の事業については、今後のデザイン会議の中で少しずつ議論していくでもいいのでは。  
・すべてを行政がやる必要はないのかもしれない。行政と民間の間くらいいろいろなやり方がある。

【新スポーツ施設】 ・デザイン会議開始前、あるいはキョーエイ駅前店の閉店前に、ポートレース場敷地を候補地とする基本構想が示されていた。その後の状況変化で、年度末を目処に再度ポートレース場とまちなかなどで比較検討する。  
・まちなかサッカー専用施設(スタジアム)は、タスクフォースを設置して、調査研究を行っていく予定である。  
・全てのコンテンツを盛り込むことはできないので、そこから何を作ればいいのかというのを考えていかなければいけない。

・センター街ビル跡地とスポーツ施設の話は、時間軸がデザイン会議とは少し違うかも。

- ・アンケートや提案は、1%でもいいから実現してほしい。小さくてもいいから実現するというふうに動いてもらうと嬉しい。そうすると次にもっと若い世代の側からいろいろな意見を出してくれるようになる。
- ・コンテンツの整備状況を他の街と比較してみると、鳴門市は揃っておらず、衝撃的である。具体例を見ると整備されているものが違うことが分かる。
- ・鳴門駅の周辺が変わった時に、商店街としてはどうなっていったらいいだろう。
- ・まちが活気を帯びるためには、商店会の人々が本当に中心になってほしい。商店会からもいろいろな意見が出るといい。
- ・官の力も借りながらどうまちを作っていくかについて、同時進行で商店街としても考えていかないといけない。
- ・現状を見ると、まず最初に駅周辺に人が来れる体制を作ることが必要であると考えます。
- ・それぞれの施設が連動してほしい。個別に出来てしまうとどこに向いていくかというのが難しくなる。
- ・鳴門駅が動く、谷通り、道が国道に繋がり、またその向こうの撫養川に繋がっていく。そこにすごい希望というか、わくわく感を感じる。
- ・駅というのが単なる乗り降りの場所ではなく、地域で大事にして頂いている場所と認識している。
- ・鳴門駅の移転自体は、大きな事業ではなくても、そのことによってまちの構造全体が変わって来る。駅を動かすというきっかけが出発点でまちがいろいろ変わってくるような気がする。
- ・デザインの本質は、物事の本質的な組み立てにも関与して、あるべき方向を指し示すことであり、この会議も出来れば そういう方向に持っていきたい
- ・デザイン会議がプロデューサー的な立場になって、まちの構造や人の導線などをもう一度きちんと見て、デザインしなおす。

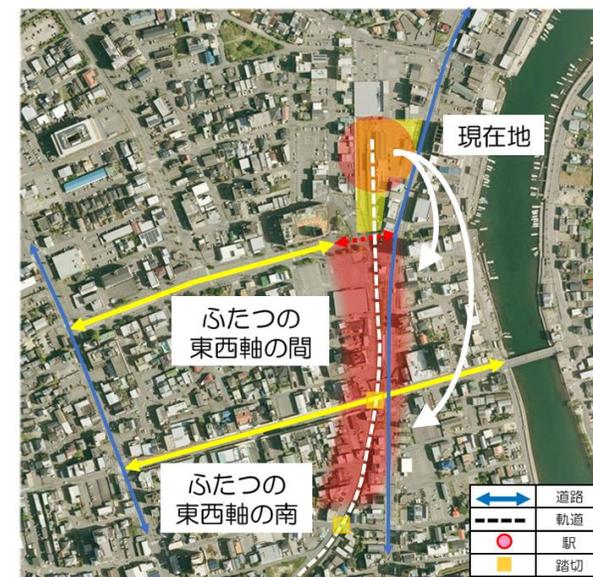
## 第4回鳴門市まちづくりデザイン会議 議事録 概要版

### 会議の日程

第1回 令和7年3月24日(月)済  
第2回 令和7年6月13日(金)済  
第3回 令和7年8月 9日(土)済  
第4回 令和7年12月2日(火)  
13時半~15時半  
鳴門市役所2階大会議室



第4回会議の様子



まちのコアの位置の検討

## 駐車場について

- ・徳島県は車社会なので、駐車場の整備は必須である。車で来れない方は、公共交通がカバーしていくイメージである。
- ・どのくらいの駐車場を用意するつもりなのか。むしろそこから逆算したほうがいいのでは。
- ・現在、乗ってる人たちが**いずれ車に乗らなくなる時代も来る**という話もある。
- ・大きい駐車場を作ればいいのかというと、まちなかが殺伐とした風景になる。
- ・国土交通省が**フリンジ駐車場という考え方**を出している。地方都市には合ってるではないか。駐車場が分散的になるというのは今の鳴門市の在り方にはいいかもしれない。
- ・**デジタル化により、空き駐車場の情報を共有化**し、フリンジ駐車場に対応など検討していく。



駅前時間貸駐車場

### 【駐車場の大きさ】

標準 2.5m×6.0m

国交省「駐車場設計・施工指針について」  
【フリンジ駐車場】

都市の周縁部(フリンジ)等へ駐車場を誘導・集約化することで、都市中心部への自動車流入を抑制すること。自動車と歩行者の動線分離を図る目的もある。

## 東西軸や川周辺の活用方法等

大道銀天街や谷通りの東西軸の活用方法のほか、撫養川沿いの利活用などの説明をしました。

- ・全部やりたいけど、なかなかそうはいかない。
- ・アーケードは商店街の象徴である。商店街としては、防犯面も含めてアーケードは保存できた方がいいと考えている。
- ・買い物客を考えると雨や日差しも凌げるのでアーケードはあったほうがいいが、維持管理の問題が難しい。
- ・アーケードが無くなってしまふ場所に、ポケットパークという新しい空間ができるのはいいなと思う。
- ・商店街の車道の使い方として、自転車通行場所を検討することも必要ではないか。車道と歩道空間だけでなく、自転車空間も検討すべきである。
- ・電線の地中化を実施しているまちは、どこのまちに行っても、すっきりしたいいいまちだなという印象を感じを受ける。だが、費用もかかることから、効果などを確認し合意形成する必要がある。
- ・谷通りは場所や道幅を考えても、今すぐにでもできるのではないかと気がする。
- ・谷通りも、大道商店街も現状では道路という印象が強い。道の舗装を変え目抜き通りとすることで歴史や文化を感じるコンテンツにすることが出来るのでは。
- ・**「水辺が変わればまちが変わる」、水辺でサップとか、中心地でアーバンな釣り堀があるとかが出来ると面白い。**
- ・これからのまちの姿を何パターンもイメージ出来て、今まで整理できていなかったものを、こういう考え方もできるんだと改めて考えさせられました。
- ・鳴門駅は頭端駅であり、終着駅や頭端駅は再整備の事例は少ない。でも、うまく作ることが出来たら情緒が出てチャンスになる。やり方次第である。
- ・ウォーカブルに関する実証実験は、さほど賑わっているようなイメージは持たなかった。単に歩道を広げるだけではなく、何か仕掛け的なものが必要になるのかなと思う。
- ・コンテンツは、近い将来にできるもの、中くらいの時間軸のもの、長い期間を見据えた大構想と、いくつかの段階に分けて時系列的に区別して考えていったほうがいい。



駅前整備イメージ

## 今後の議論の進め方について

- ・不確定なものを前提に議論を進めることはできないから、状況を把握しながらまとめていく必要がある。
- ・最終的にはパブリックコメントへと進めて行く。
- ・図を出しながら、普段見えない市民の方からもご意見をいただきたい。
- ・鳴門駅周辺の再整備にあたって、商店街としても、希望や行きつく先の目標のようなものを持っておかないといけない。本当は**商店街はこういう風になりたい、こんな人に歩いてほしいというのがあったほうがいい。**
- ・ちゃんと丁寧にきかみ砕いて説明する必要がある。

## 次回の議論の方向性

- ・まちの現状報告、センター街ビル・新スポーツ施設の議論進展状況について報告
- ・まちのコアの位置について議論を進める。
- ・まちづくり未来ビジョン素案を提示し、議論を進める。

これまでの会議で議事録や資料については、市公式ウェブサイトをご覧ください。右のQRコードからも閲覧できます。



§ 次回は、2月18日開催予定です。ウェブサイト・広報紙にてご確認ください。